

**【NEWS RELEASE】**

2021年12月30日

各位

株式会社三井住友銀行

富士金属株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、富士金属株式会社（代表取締役社長：山中 芳）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、富士金属株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 超深絞りプレス加工による金属部品の製造を通じた、資源の効率的な利用ならびに産業プロセスの改善

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

- ② 自社工場における省エネ化の促進、再生可能エネルギーの導入拡大

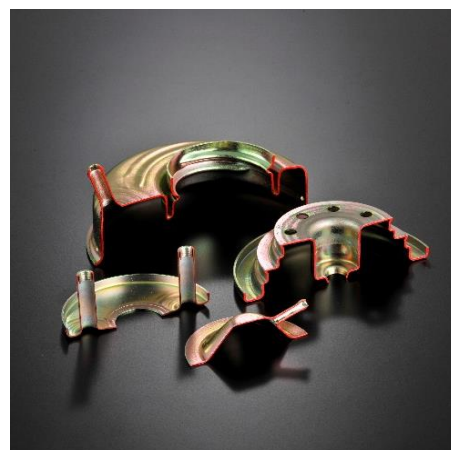
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
--------------------------------	---

	<p>7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>
--	---

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



**パイプ加工品を深絞りプレス化！！**  
 超深絞りプレス加工技術を用い、一枚の平板よりシームレスパイプを制作。溶接パイプからの工法転換を図り、溶接廃止による電力およびCO2削減を図る。



**溶接・ロー付け等の廃止！！**  
 複合部品を超深絞りプレス加工で一体成形。溶接・組立工程を省略し省エネ化。さらに、ダイキャスト、鍛造部品のプレス化により50%以上の軽量化を図った事例もある。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

<p>このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。</p>
---